

新宿区議会だより

第2回定例会

〈発行日〉
平成20年(2008年)7月25日

発行：新宿区議会 電話(3209)1111(代表) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス：http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/gikai/



東京メトロ副都心線開通
利便性の向上で新宿もさらに活況が期待されます



「みどりのカーテンプロジェクト」実施!
自然のカーテンでヒートアイランド緩和を。公共施設・学校のほか、区民・事業所の参加も得て展開中です



「四谷ひろば」が発足
旧四谷第四小学校の跡地に、地域文化の拠点を目指した交流の場が。地域ひろば、東京おもちゃ美術館、CCAAアートプラザが入っています

トップニュース

今定例会で可決した議案

==新宿区が“景観行政団体”に!==

景観法に基づく景観計画の策定等に関し、条例を制定

今定例会では、区長提出と議員提出あわせて22件の議案が可決されました。条例では、新宿区が景観行政団体となることについて都から同意を得たことから、景観計画の策定や届出に係る事務等を定める『新宿区景観法に基づく景観計画の策定及び届出行為等に関する条例』の制定や、西新宿五丁目の再開発に関し、都市計画決定がなされたため、建築物の用途・敷地等の制限について定める『新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例』の一部改正、平成21年度から新宿区立図書館3館の管理を指定管理者に行わせることとするほか、開館時間等を変更する『新宿区立図書館設置条例』の一部改正などを可決。このほか、信濃町・西落合の2つの児童館の耐震補強・改修工事契約などを可決しました。…関連記事 2面



東京都のモデル事業で補正予算を可決

ひきこもりがちな若者のサポート事業を実施

==平成20年度一般会計補正予算1億7,955万8千円を可決==

ひきこもりセーフティネットのモデル事業として、就労支援の推進のため約990万円、生活安定応援事業のため約2,760万円、信濃町保育園の用地買収及び整備のため約1億3,900万円などの補正予算案を可決しました。…関連記事 2面

意見書

社会保険新宿診療所が 公益性の強い医療機関として存続することを求める!

今定例会では、年金・健康保険福祉施設整理機構に移管されている社会保険新宿診療所についての『新宿区の医療充実のために社会保険新宿診療所を公益性の強い医療機関としての存続を要望する意見書』及び子宮頸がんの予防・早期発見の取り組みを推進するため、予防ワクチンの早期承認に向けた審査等を求める『子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書』を議決し、国会等に提出しました。…関連記事 2、8面



会議日程

◆第2回定例会

- 6/9(月)…議会運営委員会、本会議(代表質問:新無ク・社会・自民・公明・共産)
- 6/10(火)…議会運営委員会、本会議(代表質問:民主・花マル、一般質問)、委員長会
- 6/11(水)…常任委員会(総務区民、福祉健康、環境建設、文教委員会)
- 6/12(木)…常任委員会(総務区民、福祉健康、環境建設、文教委員会)
- 6/13(金)…特別委員会(防災等安全対策、自治・地方分権)
- 6/16(月)…特別委員会(議会・行財政改革)、議会運営委員会
- 6/18(水)…議会運営委員会、本会議(議案の採決、意見書の採決等)

このほかにも、情報いっぱい

- 議員研修会を開催しました …… 2面
- 区政のここを問う
ボリュームアップ!3ページの大紙面に、全質問議員の質疑を集約 …… 3~5面
- 平成19年度政務調査費と議長交際費の支出状況 …… 6面
- 平成20年上半期 他都市からの視察・訪問 …… 6面
- 「(仮称)自治基本条例」制定に向けて地域懇談会を実施! …… 7面
- 特別委員会の地方都市視察報告 …… 7面
- 沖縄全戦没者追悼式に参加 …… 7面
- 今定例会で議決した意見書 …… 8面
- 皆様から託された請願・陳情の処理状況 …… 8面
- 全議員視察中強羅区民保養所(つつじ荘)を視察 …… 8面

議案の概要と審議結果(賛成…○ 反対…×)

○20年第2回定例会(6月9日~6月18日)

Table with columns: 議案名, 概要, 自民, 公明, 共産, 民主, 新進, 社会, 花マル, 議決結果. Rows include budget items, ordinance amendments, and committee reports.

※1 花マルは棄権

議員研修会を開催!

「間違いだらけの地震対策」防災対策のあるべき姿

第2回定例会開催を目前に控えた6月6日、「地震対策、防災対策」をテーマに議員研修会を開催しました。

日本は地震学的に巨大地震を迎える時期に入っており、300兆円を超える膨大な被害が見込まれる。家族や財産、自分の命をどう守り、被害を最小限に抑えるためには何が必要か。

現場を見ての調査・分析に裏打ちされた目黒教授の講演は力強く、また、行政の多くの施策は一発勝負のやりっぱなし、と厳しい指摘もありました。

また、防災対策のシステムとして、「公助・共助・自助」が挙げられる。最も大切なことは、市民一人ひとりの事前の「自助」への取り組みであり、この自助を誘発し、支援するような「公助・共助」のあり方が強く求められる。

新宿区議会では、日頃の調査・研究に加え、喫緊の課題に對してこのように専門家を招いて研修会を開催し、議員の自己研鑽とさらなる資質向上に努めていきます。

講演では、スクリーンを使い、災害現場の惨状を伝える生々しい画像や、耐震補強・転倒防止器具の効果の実験映像など、思わず息を呑むシーンが映し出されました。



講師プロフィール

目黒公郎氏：東京大学教授、東京大学生産技術研究所。専門は都市震災軽減工学。国内外の30を超える自然災害現場を調査し、「構造物の破壊シミュレーション」から「防災の制度設計」まで広範囲にわたり研究。



区政のこころを問う

新宿区は先駆的立場で 多文化共生の施策モデルを示せ!

新宿区議会無所属クラブ 代表質問

のづたけし

質問 ①外国人と地域の相互理解への施策の工夫は。②大久保地区を地域との融合のモデルケースとしては。③外国人の子ども達への日本語サポート指導の成果は。他の多文化共生施策との連携が必要では。

答弁 ①今年度、区内で生活を始める全外国人対象の情報誌を外国人参加で作成。顔の見える関係づくりを推進。②取組みを



大久保小学校で行われた多文化防災訓練の様子

区全体で共有する。③初期指導に成果。事業間での連携に努力

後期高齢者医療制度を廃止せよ

社会新宿区議会議員団 代表質問

かわの達男

質問 高齢者には医療抑制か負担増かの選択肢のみで、高齢者を見捨てる医療制度だ。①なぜ対象者を75歳以上と限定したのか。②年金からの天引きを止めるべき。③現場の医師の声をどう受け止めるのか。④区民の疑問・不安にどう対応するのか。⑤制度を廃止するしかない。

答弁 ①老人医療制度の受け皿。②状況を見て対応。③医師・区



高齢者切り捨ての「後期高齢者医療制度」は廃止を

民の声を受け止める。④相談体制を整える。⑤制度を円滑に運営

東京メトロ副都心線開業について

自由民主党新宿区議会議員団 代表質問

吉住 健一

質問 いよいよ6月14日に東京メトロ副都心線が開業する。区は、街の更なる活性化のためにも地元地域と協力し、対策を講じる必要がある。①サブナードを明治通りまで延長することについて、区長は、関係機関、周辺地権者などと検討会を立ち上げ、サブナードと地下鉄13号線コンコース接続に向けて検討していくと答弁しているが、どこまで進んでいるのか。②東京メトロ副都心線の開業による西早稲田駅、東新宿駅、特に新宿三丁目駅を起点とした街のあり方を区長はどう考えているか。

答弁 ①サブナードと地下鉄副都心線コンコースの接続については、東京都との検討会を18年度に立ち上げ、19年度には整備形態の検討を行い関係機関と調整を行った。さらに、商店会、地権者等と意見交換会を開催するなど延伸方策の検討にも取り組んだ。しかし、調整すべき課題が残る引き続き実現に向け検討を進める。②西早稲田駅周辺では戸山公園一体の緑創出や歩行者空間の整備を、東新宿駅周辺では駅前広場の整備や新宿文



副都心線が開通!

高齢者の安心と活力について

この4月に始まった後期高齢者医療制度は、いろいろな議論を呼んでいる。①制度の区民への広報、説明、周知はどう行ってきたか。今後、新たな施策の実施に、どのような工夫が必要か。②この制度に対する特徴的な区民の意見は。その対応は。③制度の改善点と政府への要望は。④高齢者の活力をどう活かすべきと考えるか。

答弁 ①制度の区民への広報などは、区の広報等での周知、高

学校給食の残菜処理について

わが国の食糧の自給率は40%を割り込んでいる。安全で

確実に食糧を確保するには、自給率を高め食糧の無駄を少なくすることが大切。食糧を大事にすることは、子どもの時にきちんと教えておくことが必要。①都内の学校では、残菜処理施設を設置しているが区としてどう考えるのか。②残菜処理施設の設置のモデル校を検討しては。

答弁 ①残菜は業者に委託し家畜等の飼料としてリサイクル化を図っている。環境面、コスト面で優れたものと考えている。②生ゴミの一部を校内で処理することは、ゴミの減量化や資源循環型社会のモデルとなるので検討していく。

女性の人生をトータルでサポートする施策を!

新宿区議会公明党 代表質問

鈴木ゆきえ

質問 少子高齢化の進展で社会構造が急激に変化し、女性の社会進出は時代の要請である。①女性の人生をトータルに支援する公明党の「女性サポート・プラン」についての所感は。②妊婦健診の完全無料化を。③開設

高齢者対策の充実を!

①認知症高齢者への支援策が強く求められている。(ア)予防・早期診断・早期対応への取り組みは。(イ)区内の開業医の協力で医療体制を確立すべき。(ウ)家族への経済的・精神的支援を。②健康診査に聴力検査の項目を。③今後も身近な地域に特別養護老人ホームの整備を。

答弁 ①(ア)講演会等での知識の普及啓発のほか、認知症予防教室、専門医による相談等を実施。(イ)認知症対応かかりつけ医の養成研修の実施等、体制整備に努めている。(ウ)徘徊高齢者探索サ



妊婦健診の完全無料化を!

区政のこころを問う

ービス等実施。認知症サポート
ー養成講座を開催。今後一層の
取り組みを検討。②検討する。
③今後も整備が必要。次期介護
保険事業計画策定の中で検討。

若年者の就労支援対策について

質問 ①区の認識・役割は。②
今後の事業の具体的内容は。③
補正予算による事業と区の当初
事業との関連と今後は。④(仮
称)新宿仕事センターで相談か
ら就労までの総合的支援を。

答弁 ①重要な施策と認識。相
談から就労まで一貫した支援の
第一線の役割を果たす。②親向
けのセミナー、就職面接会等予定
ひきこもりがちな若者へのサポー
ト事業を前倒しで実施。③当初
予算での予定事業と一体的に展
開。来年度以降も推進する。④
総合的支援体制作りに取り組む。

発達障害児・者支援と 障害者施策について

質問 ①発達障害の早期発見の
ため、健診と支援体制の強化が
必要では。②特別支援学級や通
級指導学級の増設と地域バラン
スへの配慮が必要だが。③特別
な配慮を要する子に対する個別
指導計画の現状と今後は。④障
害があっても生き生きと暮らせ
る新宿を実質的に作り上げてい
くため、発達障害者及び障害者
のための条例を。

答弁 ①体制の強化充実を図る。
健診については条件整備を行う。
②中学の通級指導学級新設は喫
緊の課題。開設の際はバランス・
距離等配慮する。③保護者との
連携や内容に課題のある学校も
今後特別支援教育コーディネー
ターへの研修会等を通して適切
なモデルを示し、評価・改善を
指導。④障害者施策推進協議会
等の意見を聞き十分検討する。

学校での英語教育と 日本語教育について

質問 ①新学習指導要領で小学
校の外国語教育が必修化。5・
6年生で35時間の授業実施と聞
く。区はいつから取組むのか。
条件整備は。②外国籍の子ども
への日本語指導について「日本
語適応指導」から「日本語サポ
ート指導」への変更の理由とそ
の違い、今後の見通しは。

答弁 ①21年度から前倒しで実
施。小・中連携カリキュラム作
成、研修での指導力向上等図る。
②要請が増えた教科学習支援の
強化を目的に事業名を変更。教
育センターでの集中指導や協働
での学校への支援員派遣を開始。
その他「医療制度改革」「保
育園待機児童解消と学童クラブ
利用児童の増加対策」「行政参
画の意識高揚と資金調達」「小
児の生活習慣病対策」について
質問がありました。

物価高騰から区民を守る施策について

日本共産党新宿区議会議員団 代表 質問



近藤 なつ子

質問 原油価格の高騰で、輸送
経費が食料の値上げや電気ガス
など公共料金的大幅な引き上げ



あら、また値上がりしてるわ

をもたらしている。所得が低迷
するなか、物価高が家計を直撃
し区民生活は疲弊している。新
宿区政が区民の暮らしと営業を
支えるべきとき、①足立区の学
校給食支援策、米の現物支給を
どう思うか。給食費の据え置き
と食材の現物支給を検討しては。
②社会福祉協議会の貸付金制度
はあまり知られず条件も多い。
条件緩和と限度額増額を。低所
得家庭の子どもの塾代、大学受
験料を区が給付しては。③石油
高騰の影響が大きい業界には現
金給付を含めた支援を。④低所
得高齢者の熱中症予防にエアコ
ン購入補助やリサイクル品の活
用を。生活保護世帯にエアコン
の電気代として独自に見舞金を。
答弁 ①食料費の価格上昇に、
学校給食も影響を受けていると
承知している。足立区の方針は
様々な状況での判断と認識。本
区は今年度値上げを見合わせ、
工夫により、より良い給食の提
供に努め、物価上昇の推移を見
守る。公費負担、現物支給は考
えていない。②緊急時の生活資
金については、利用者の利便性
を考慮した制度になっているが
より一層制度の普及に努め、き

め細かく相談に応じる。都の生
活安定化総合対策事業の対象外
となる、生活保護世帯の中学2・
3年生の高校進学に向けた塾代
を支援する。③原油高騰の影響
は特定の業種に限らない。区と
しては制度融資の活用や相談と
の連携で支援する。公衆浴場に
は、環境負荷軽減と石油高騰対
策からガス化への転換設備補助
を強化し経営を安定化。④指摘
された制度の導入は考えていな
いが、見守り体制を今後も強化

介護事業者と職員の支援策について

質問 介護保険法の改正により
介護事業者の経営が悪化し社会
問題に。介護職員の労働条件が
下がり負担が重く、人材の確保
が困難。①この状況をどう認識
しているか。②介護報酬引き上
げと国庫負担増を国に迫るべき。
③介護職員確保のため、区が財
政支援を講じ国や都にも働きか
けを。④基盤が不安定な単独・
小規模事業者への支援は。⑤過
酷な条件の中ケアマネジャーの
離職が増加。区は制度の改善を
国に要望するべき。区の支援策
は。⑥財務省の「要介護2以下
は支給対象外」試案をどう受け
止めるか。国に容認できないこ
とを申し入れるべき。

答弁 ①待遇面で介護人材の確
保が難しく、制度を揺るがす問
題と認識。②介護報酬を改善し
利用者負担が増加しないよう国
に要望。③国には早急に対策を
講じるよう要望。④事業者の困
難な現状を認識し安定的な運営
が図られるよう国へ要望。⑤ケ
アマネジャーの仕事と介護報酬
が見合わない実情は把握、国へ

働きかける。民間ケアマネへの
支援にも課題として取組む。⑥
現段階では財政的な見直しの一
つの選択肢と受け止める。今後
も国の動向を見守り、介護現場

後期高齢者医療制度の諸問題について

民主党新宿区議会議員団 代表 質問



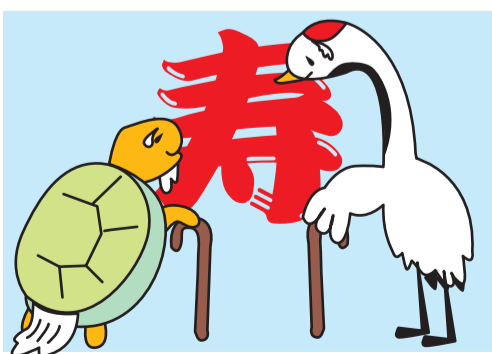
小野 きみ子

質問 75歳以上の年齢層だけを
まとめた医療制度は、保険の名
に値するかどうか、子どもでも
分かる欠陥制度である。永年に
わたり年金と保険料を払い続け
た高齢者を、歳をとって医療費
がかかるからと言って「金食い
虫、早く消えろ」と言わんばか
りのやり方は絶対に止めるべき。
①広域連合と区市町村が連携し
ての事務分担で、運営がスムー
ズに行われるのか。②広域連合
の職員は、どこから派遣されて
いるのか。③現場を知る区の職
員を派遣すべき。④老人保健施
設にリハビリ専門の作業療法士
はいるのか。⑤後期高齢者制度
を、どう評価しているか。⑥区

の高齢者医療はどうあるべきか。
答弁 ①広域連合と区市町村と
の間では、十分な協議や調整を
行っている。今後も広域連合・
国・関係機関と連携を図り、ス
ムーズな運営に努める。②広域
連合の職員は、特別区(41人)・
市町村(20人)・東京都(2人)
から派遣されている。③今後も、
現場に近い職員を派遣していく。
④区内の施設では、作業療法士
1〜2名、理学療法士1〜3名
が配置されている。⑤国民皆保

の声を伝えていく。
その他「区長の政治姿勢」「道
路交通法改正に伴う自転車の通
行対策」等について質問があり
ました。

険を将来にわたり持続可能にす
ることを目指している。⑥誰も
が安心して医療を受けられるこ
とが重要。所得の少ない方や健
康に不安を持っている方に配慮
した医療が必要。



後期高齢者を泣かせないで

改正DV法と 自治体の責務について

質問 区は法制定のはるか以前
から「自治体の責務」を十二分
に果たしている。しかし、社会
全体に、切れやすい・うっ憤を
弱者に向ける性格の人が増えて
いる折、なお一層の対策が必要。
①離婚が成立するまでの母子家
庭に対する児童扶養手当はどの
ようになっているか。②逃げて
きた女性・母子に対し当面の生
活費の支給を含め、どのような
経済的援助を行っているか。
答弁 ①DVから逃れ一年経過

区政のこころを問う

厚生年金病院の存続を

花マルクラブ

代表質問

なす 雅之



質問 厚生年金病院の公的施設としての存続を、由布市長等と共同要請すべき。①新宿区の地域事情とは？②反対の政党・会派があるか。③区長として地域の要望を国に対して主張・要請していく事が大事。④共同行動する事が、国会の審議・国の施



由布市長の呼びかけに応じ存続の共同要請を

後に受給可能。②当面の生活費などの困窮については、生活保護の適用で対応。生活費の貸付や支給は、社会福祉協議会の協力を得て行っている。この他4件質問がありました。

一般質問

新無ク えのき秀隆



質問 20年度の税制改正での個人住民税における寄附金税制の拡充は、本来の国と地方のあり方を、短絡的に都市対地方にすり

替えたもので、容認できない。①新宿区への影響は。②現実問題としての制度の活用について、研究等の意思があるか。

回答 ①具体的な影響額は予測できない。②区に寄附金があった場合の取扱い等のため検討会を設置。今後具体的に検討する。

社会 山田 敏行



江戸城外堀の保存・復元、真田濠の水面復活を

質問 ①外濠が持つ価値を維持し、歴史的文化的な遺産として存在感を高めていく視点からの

回答 ①近世都市江戸の骨格として、また重層的な歴史資産と捉えている。②現状の空堀を前提とし保全を重点的に行う。

自民 深沢としさだ



質問 認知症対策と介護保険について ①認知症の隠れた症状を

聞き取るため、家族や近所のかかりつけ医の聞き取り調査の実施を。②今後の区の認知症対策やグループホームの対応は。③高齢者虐待防止に対する施策は。

回答 ①認定の際の家族等への確認や主治医の意見書の反映。②予防や早期発見・対応の取り組み。ホームは22年度に7施設114人に整備。③権利擁護の啓発、介護者の負担軽減。

公明 小松 政子



図書館の指定管理者制度導入について

質問 制度導入で①どのようなサービスの向上を目指すのか。②今後の地域館の整備は。③夜

回答 ①民間等の能力を活用し利用者満足度の高い運営、地域特性を生かした提案を期待。②区全体の施設計画の中で総合的に検討。③検討する。22年度導入の四谷等3館は地域センターの閉館時間に合わせ延長の予定。応じ、了解を得るよう努力。

西落合児童館改修中・後の対応

質問 ①一般児童への対応は。②

回答 ①旧落合社教会館に居場所を確保。②幼児サークルを実施。改修後は三世交代交流スペースに確保。落合第六幼稚園舎も検討。

質問 ①組織風土や体質の変革も重要な要素。②区にふさわしい組織文化の醸成を目指し、研修内容等の充実を図っていく。

民主 久保 合介



「どうすれば区役所は変わるのか」

質問 ①「変わる力」を左右するのは、自治体研修で指摘されている役所風土や体質では。②区独自の構想応募の検討」の質問あり。

回答 ①この「バイオマス・タウン構想応募の検討」の質問あり。環境社会への転換の視点を強く説明し、資源化率を高める努力を。②新宿区独自で容器包装プラスチック専用の収集袋作成を。

回答 ①(ア)周知の工夫、きめ細かな対応を展開。(イ)周知徹底する。②コスト等今後の研究課題。周知啓発で資源回収率向上を図る。評価方式の現状と工事成績の評価制度の検討は。品質確保に向けた課題の検討は。

回答 ①入札、契約制度の見直しを検討。②技術系職員が監督・検査。安全性の確保が重要な視点。今後、品質確保に向け検討組織を設置。

自民 ひやま真一



公共工事の品質確保について

質問 ①品質確保をさらに徹底するための対応は。②公共工事における監督・検査の方法は。どのような視点が重要か。総合

連携したカーボンオフセット事業の進捗状況は。

公明 赤羽つや子



地球温暖化対策について

質問 ①区に関係する全ての人

回答 ①区独自のパンフレットを作成・配布。②町会等に協力依頼。今後、新宿駅周辺の一定エリアでの取り組みで、効果的アプローチを計画。③事前協議中。環境学習も今年度試行的実施へ。量の目標値引き上げを。③その取り組み強化を。④学校での環境教育の一層の推進を。

回答 ①募集案内の掲示増や募集当初からHP上に記事配信。会議の夜間休日開催検討。②設置の趣旨が様々な年代や立場からの意見。また生活者の視点で異なるテーマへの意見が重要と考える。HP上の会議意見掲載に工夫を図る。

質問 ①国に温室効果ガス削減の中期目標の設定を求めるとき。②容器包装プラスチック資源回収

回答 ①洞爺湖サミットでの動向を注視。②初年度は計画通り。③チラシ等の工夫やマンシオン等の説明会実施。④児童生徒への周知や関係機関と連携して充実。

回答 ①募集案内の掲示増や募集当初からHP上に記事配信。会議の夜間休日開催検討。②設置の趣旨が様々な年代や立場からの意見。また生活者の視点で異なるテーマへの意見が重要と考える。HP上の会議意見掲載に工夫を図る。

回答 ①今後町会等各団体の取り組みを継続し、具体的方策を強化。②確かな学力推進員等を配置しきめ細かい指導に努める。③多文化共生プラザの有効活用や効果的な方策を検討。

回答 ①大久保地区への更なる施策が調査、検討、提言されるべき。②日本人児童の教育水準を維持することも重要。③日本人の

回答 ①今後町会等各団体の取り組みを継続し、具体的方策を強化。②確かな学力推進員等を配置しきめ細かい指導に努める。③多文化共生プラザの有効活用や効果的な方策を検討。

回答 ①今後町会等各団体の取り組みを継続し、具体的方策を強化。②確かな学力推進員等を配置しきめ細かい指導に努める。③多文化共生プラザの有効活用や効果的な方策を検討。

平成20年 第3回 定例会のお知らせ
9月16日から10月10日までの予定です。
本会議 9月16日・17日・10月10日
決算特別委員会 9月18日～10月1日
常任委員会 10月3日・6日
特別委員会 10月7日・8日
☆ぜひ傍聴にいらしてください。
☆手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。できるだけ7日前までに議会事務局(TEL5273-3534)までご連絡ください。

平成19年度

政務調査費の収支報告をお知らせします

平成19年度 政務調査費収支一覧〔平成19年5月～平成20年3月〕

会派名	会派人員	収入	支出							支出合計	主な用途
			調査研究費	研修費	会議費	資料費	広報費	事務費	人件費		
自由民主党新宿区議会議員団	9	14,850,000	2,053,459	14,000	3,000	770,463	4,984,601	2,628,684	3,730,000	14,184,207	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
新宿区議会公明党	9	14,850,000	669,510	0	0	393,775	266,780	488,584	0	1,818,649	調査研究視察経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
日本共産党新宿区議会議員団	8	13,200,000	1,590,055	65,063	16,000	612,666	5,322,600	933,355	3,739,868	12,279,607	区政アンケート関連経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
民主党新宿区議会議員団	6	9,750,000	854,642	15,000	0	201,835	5,542,066	1,437,903	573,100	8,624,546	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
新宿区議会無所属クラブ	3	4,950,000	0	72,270	0	16,188	4,750,092	111,450	0	4,950,000	研修会参加経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
社会新宿区議会議員団	2	3,300,000	165,000	19,000	14,370	115,617	1,831,576	1,111,742	0	3,257,305	調査研究交通費、資料購入経費、広報紙発行経費など
新宿区議会花マルクラブ	1	1,650,000	5,880	41,220	0	35,980	996,223	480,697	90,000	1,650,000	研修会参加経費、資料購入経費、広報紙発行経費など
合計	38	62,550,000	5,338,546	226,553	33,370	2,146,524	23,693,938	7,192,415	8,132,968	46,764,314	

※平成19年4月の改選により平成19年5月から会派議員数等が変わりました。平成19年4月分の収支報告は本紙No.234(平成20年1月1日発行)に掲載しています。
◎収入・・・月額15万円に会派の人数を乗じた金額になります。(交付された政務調査費に残額が生じた場合は、区に返還します。)

政務調査費は、次の用途に用いることはできません

- 1 政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人の利益のために要する経費としての支出。
- 2 日当(1日あたりの決まった手当て)としての支出。
- 3 寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出。
- 4 交際費に要する経費への支出。(結婚式の祝い金、香料、見舞金等)

もっと詳しく知りたい時

会派は、四半期ごとに『四半期収支状況報告書』を、また、年度が終わると『年度収支報告書』をそれぞれ30日以内に議長に提出します。報告書には、調査研究費や研修費等の項目別に、具体的な使いみちと金額が書かれています。この報告書は、閲覧することができます。(領収書等についてもご覧いただけます。)詳しくは、議会事務局までご連絡ください。

平成19年度

議長交際費の支出状況を公表します

- 議長交際費とは、議長が議会を代表して各種行事や接遇関係など対外的な活動をするために要する経費です。
- 毎月の執行額については、平成16年1月分から区議会ホームページでご覧になれます。

※支出団体名等は、平成19年4月分から区議会ホームページに掲載しております。

支出先	会費		見舞い		弔慰		接遇		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
町会	6	60,000	0	0	2	10,000	0	0	8	70,000
地域団体	7	50,000	0	0	0	0	0	0	7	50,000
商店会	3	30,000	0	0	0	0	0	0	3	30,000
各種関係団体	36	306,500	0	0	0	0	0	0	36	306,500
その他	3	22,000	1	5,000	5	60,000	0	0	9	87,000
合計	55	468,500	1	5,000	7	70,000	0	0	63	543,500

政務調査費とは、地方自治法に基づき、新宿区政務調査費の交付に関する条例を定めて、議員(会派)が調査研究に使うために必要な経費の一部として、会派に交付される経費のことです。

平成19年度(平成19年5月～平成20年3月)に交付した政務調査費がどのように使われたのかは左記の表のとおりです。

支出項目の説明

調査研究費
区の事務及び地方行財政に関する調査研究及び調査委託に要する経費
【調査委託費、調査報告書作成費、交通費、宿泊費等】

研修費
研修会及び講演会の実施に必要な経費並びに他団体が開催する研修会、講演会等への所属議員及び会派の雇用する職員の参加に要する経費
【会場費、機材借り上げ費、講師謝金、出席者負担金・会費、交通費、宿泊費等】

会議費
調査研究のための各種会議に要する経費
【会場費、会場設営費、講師謝金、資料印刷費等】

資料費
調査研究に必要な資料の作成及び図書、資料等の購入に要する経費
【印刷・製本費、原稿料、書籍購入費、新聞雑誌購読料等】

広報費
議会活動及び区政に関する政策等の広報活動に要する経費
【広報紙・報告書等印刷費、送料、交通費等】

事務費
調査研究に係る事務遂行に必要な経費
【事務用品・備品購入費、リース料、通信費、事務所費等】

人件費
調査研究を補助する職員を雇用する経費
【給料、手当、社会保険料、賃金等】

他都市からの視察・訪問

新宿区には、全国の自治体の議会(委員会・会派・議員)が、施策の調査のため視察に訪れています。下の表は、今年前半(平成20年1月～6月)に視察のあった自治体の議会と、その調査内容です。

また、友好都市等の訪問もあります。今年3月には、友好都市であるドイツのベルリン市ミッテ区の青少年が、4月には中国の政治協商会議北京市東城区の委員会代表団が、訪れました。

平成20年1月～6月 他の区市町村議会からの視察

視察日	区市町村名	調査内容
1月 9日	愛知県・豊田市	議会代表質問一問一答・議決案件の拡大
18日	福岡県・福岡市	議会広報
18日	北海道・石狩市	区立図書館の運営
21日	静岡県・島田市	議会中継・議会だよりの編集
22日	宮崎県・日向市	自治基本条例検討連絡会議
28日	大阪府・河内長野市	四谷子ども園
29日	東京都・江戸川区	議会対面式質問・一問一答
2月 4日	三重県・伊勢市	高齢者の孤独死対策について
6日	茨城県・土浦市	建築物の絶対高さ制限
13日	滋賀県・長浜市	愛日幼稚園・中町保育園の幼保連携
13日	滋賀県・彦根市	愛日幼稚園・中町保育園の幼保連携
4月18日	福岡県・北九州市	高齢者への見守り事業
25日	大阪府・吹田市	若者への就労支援
5月 9日	大阪府・大阪市	歌舞伎町ルネッサンス・議員政治倫理条例
12日	北海道・苫小牧市	ごみの訪問収集・心身障害者の就労支援
13日	兵庫県・加古川市	子どもの医療費助成制度
19日	長崎県・長崎市	区民との協働
21日	山口県・長門市	議会改革・議員政治倫理条例
21日	三重県・四日市市	地区協議会の活動・組織
22日	熊本県・八代市	高齢者の孤独死対策・しごとセンター
23日	東京都・港区	教育センターの運営



ミッテ区青少年派遣団の皆さんと (H20.3.18)



北京市東城区の表敬訪問 (H20.4.16)



区内10箇所 地域懇談会を開催!

新宿区では、「(仮称)自治基本条例」の制定に向けて、昨年11月から、辻山幸宣氏(中央大学大学院客員教授)を座長に「議会側委員6人、行政側委員6人」で「検討連絡会議」を設置し、検討を重ねてきました。

新宿区議会は、これまでも長年にわたり国に対して「地方分権の推進」を求めてきましたが、ようやく国は、自治体を「上下・主従」の関係から「対等・協力」の関係に変えつつあります。

そこで、この5月9日から「議会と行政」が共同で、区内10会場において地域懇談会を開催し、次のようなテーマで、延べ300人を超える方々と様々な意見を交換してきました。

●「最も区民に身近な地方政
府、新宿」との観点からの、新宿区



らしい自治の在り方について

●条例を作るための区民検討委員の募集について

地域懇談会場では、「条例を作った何が変わるのか」、「条例を作るのは議員の仕事ではないのか」、あるいは条例の身に踏み込んだ質問など、様々な意見が出され、活発な議論が交わされました。

区議会としては、このような取り組みは初めてのことで、委員は緊張の連続でしたが、区民・行政・議会が一緒になつての議論がなされ、大変有意義な地域懇談会でした。

7月22日には議長、区長による区民検討委員の委嘱式と第1回区民検討会議が開催されたところであり、いよいよ新宿区における自治基本条例についての本格的な議論に入ります。

〔地方都市視察報告〕

議会・行財政改革特別委員会では、5月7日～9日に「議会改革」と「議会基本条例」について、三重県議会と三重県伊賀市議会の視察を実施しました。

【三重県議会】
三重県議会は、分権時代を先導する議会をめざして、「議会基本条例」や「議員の政治倫理に関する条例」を制定するなど、積極的に議会改革に取り組んでいます。



都道府県議会で初めて議場に
対面演壇方式を導入、一問一答を含む分割質問方式の採用、また今年からは通常年4回の定例会を年2回にし、長い会期で議員間の討議を充実する等、新たな試みで全国の地方議会をリードする存在でもあります。

視察では、議会改革の基本理念やこれまでの取り組みについて説明を受け、質疑を行いました。

委員からは、議会独自の政策提言や議員提出条例、会期見直しに伴う費用弁償の見直し、出前講座について等の質問が続出し、予定時間を超過するほど熱心な



質疑となりました。
その後、大型スクリーンの設置された本会議場や委員会室等を見学しました。

【伊賀市議会】

伊賀市は、平成16年11月に上野市、伊賀町など1市3町2村が合併した、人口約10万2千人、世帯数約3万9千を有する市で、伊賀忍者でも有名な地です。昨年、全国の市では初めて議会基本条例を制定し、注目されました。

視察では、議会基本条例の特徴や制定までの流れについて議会事務局から説明を受けましたが、



条例制定時に議長をされていた安本議員にもご出席いただきました。
安本議員からは、市内6か所でタウンミーティングを行ったことなど制定当時の苦労話や、条例制定前と後での議員の行動の変化等、大変興味深いお話を直に伺うことができました。委員からは、議会報告会、政策討論会等について

質疑があり、充実した内容となりました。
三重県・伊賀市両議会には、大変丁寧な対応をしていただきました。
今回の調査目的は議会自らの課題ということもあり、大変活発で有意義な視察となりました。この貴重な経験を今後の新宿区議会に活かしていきたいと思えます。

平和の思い より強く 沖縄全戦没者追悼式に参加しました

恒久平和への誓いを発信する「沖縄全戦没者追悼式」が、6月23日、糸満市摩文仁の平和記念公園で開かれました。

新宿区議会は、本年も、雨宮武彦、のづたけし、赤羽つや子の3名の議員を、区議会の代表として派遣しました。

新宿区は、昭和61年3月15日、「新宿区平和都市宣言」を行って以来、沖縄、そして広島、長崎の平和祈念式に議員を派遣しています。

史実を正しく継承し、米軍基地が集中する沖縄の今と、沖縄戦を結び付けて考えることの重要性が問われる中で迎えた「慰霊の日」。

追悼式は、沖縄県議会議長の式辞、正午の時報を合図に黙とう、代表者の献花、沖縄県知事の「平和宣言」、福田首相、衆参議院議長の来賓あいさつと続きました。

「平和宣言」の冒頭、「戦争



式典に先立ち、東京都関係の南方戦没者慰霊塔「東京の塔」で献花を行う

の記憶を正しく伝えること、二度と戦争を起こしてはならないと確認し続けること、この信条こそが沖縄の原点」との一節を、心に深く刻み付けました。

「平和の詩」の朗読として、読谷小学校4年生の嘉納英佑さんが、祖父母の沖縄戦体験や、今世界で起きている戦争を通して、「みんながしあわせになれるように、ぼくは、世の中をしつかり見詰め、世の中の声に耳をかたむけたい」と、平和の大切さを訴えました。

今定例会で議決した 意見書

(要旨)

意見書の全文は区議会ホームページをご覧ください。議会事務局までご連絡ください。

子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

女性のがんである子宮頸がんの死亡率は高く、毎年約8,000人が子宮頸がんと診断され、約2,500人が亡くなっています。子宮頸がんの原因のほとんどはウイルスによる感染で、予防ワクチンの研究開発が進み、2006年6月には米国をはじめ80カ国以上の国で承認されています。日本でもこのワクチンの早期承認に向けた審査をすすめ、承認後の接種の助成、日本でのワクチンの開発・接種等のあり方の検討などの必要な対応を早急に実現するよう、国会及び政府に求めました。

新宿区の医療充実のために 社会保険新宿診療所を公益性の強い医療機関としての存続を要望する意見書

社会保険新宿診療所は、2007年度の実績で、区内の1割の2,800事業所・2万9千人が受診、総利用者数は2002年度の13万人から17万人へと30%も増えており、区内在住者はもとより在勤者などにも大きな役割を果たしています。したがって、すでに独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構に移管されていますが、公益性の強い医療機関として存続し、健診事業の強化に大きな役割を果たすよう活用すべきことを、国会、政府及び整理機構に求めました。

皆様から託された

請願・陳情 の処理状況

本定例会において新たに4件の陳情が出されました。審査の結果、1件を採択、1件を不採択としました。また、議会の閉会中も継続して審査していたもののうち、1件を不採択としました。

結論の出なかった陳情については、議会の閉会中も継続して審査を行うこととしました。

今定例会で 審査したものの 新たに提出された ものの【要旨・審査結果】

採択されたもの

〔仮称〕新宿7丁目計画・新築工事に関する陳情
20陳情第20号(環境建設委員会)

区は、建築業者に対し、地元住民と十分話し合い、周辺の景観・住環境に配慮した計画にするよう指導してください。
不採択となったもの

〔新宿区役所移築と新宿タワー建設に関する陳情
20陳情第18号(総務区民委員会)

区役所をより広い土地へ移築し、現敷地への新宿タワー建設や、観光促進税の導入、遊休不動産再活用による地域観光行政向上のための金融支援を主とした国際銀行創設の協力会議等を求めます。
継続審査となったもの

〔日本政府に「戦時性的強制被害者問題への誠実な対応を求め」意見書の採択を求める陳情
20陳情第19号(総務区民委員会)

日本軍の性暴力の被害者問題(「慰安婦」問題)は未解決で、公式謝罪や補償、真相究明等がないことに対し、世界各国で批判の声が高まっています。これ以上の放置は世界の国々の信頼を失いかねません。新宿区議会は政府に標記意見書の採択をしてください。

〔「郵政民営化見直し」に関する陳情
20陳情第17号(総務区民委員会)

1 法律に金融のユニバーサルサービスの提供義務を明記するよう努力を。
2 分社化した日本郵政株式会社等3社の株式について、国が保持し続けられるよう「株式売却の凍結」に尽力を。
3 民営化実施前後の郵便と郵便局サービスの実態検証と、政府・関係機関への見直しの働きかけを。

〔区政策的創業支援制度確立に関する陳情
20陳情第8号(総務区民委員会)

〔「慰安婦」問題)は未解決で、公式謝罪や補償、真相究明等がないことに対し、世界各国で批判の声が高まっています。これ以上の放置は世界の国々の信頼を失いかねません。新宿区議会は政府に標記意見書の採択をしてください。

〔「郵政民営化見直し」に関する陳情
20陳情第17号(総務区民委員会)

1 法律に金融のユニバーサルサービスの提供義務を明記するよう努力を。
2 分社化した日本郵政株式会社等3社の株式について、国が保持し続けられるよう「株式売却の凍結」に尽力を。
3 民営化実施前後の郵便と郵便局サービスの実態検証と、政府・関係機関への見直しの働きかけを。

〔区政策的創業支援制度確立に関する陳情
20陳情第8号(総務区民委員会)

〔「慰安婦」問題)は未解決で、公式謝罪や補償、真相究明等がないことに対し、世界各国で批判の声が高まっています。これ以上の放置は世界の国々の信頼を失いかねません。新宿区議会は政府に標記意見書の採択をしてください。

新宿区議会ホームページもご覧ください

区議会のインターネット中継(生中継・録画)、会議録の検索のほか、議会の予定や、議員の名簿、請願・陳情、意見書の全文などご覧いただくことができます。



新宿区議会ホームページのアドレスは、<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/gikai/>です。

全議員 視察

リニューアルオープン の中強羅区民保養所(つつじ荘)を視察!!

区議会では、去る5月16日に、改装工事を施してリニューアルオープン(3月25日)した区立中強羅区民保養所(箱根つつじ荘)を視察しました。

箱根つつじ荘は、箱根登山鉄道の強羅駅から徒歩5分の場所にあり、富士箱根伊豆国立公園内の温泉郷である中強羅の自然に囲まれた静かな施設で、区民の皆さんの健康回復や保養を目的として運営されています。

昨年度行われた工事の内容は、耐震補強と施設の大規模改修で、9月から約半年間、施設を休館にして行われたものです。改装後は、各客室にトイレが設置されたほか、バリアフリー化の観点から新たに洋室を増やし、また、要望の多かった露天風呂もできました。

34名の議員は、朝、新宿を出発し、2時間ほどでつつじ荘に到着。すぐに大広間で区の担当者や施設を運営している指定管理者から施設の概要などの説明を受けました。議員からは、利用の実態や利用者の利便性に関することなどの質疑がありました。その後、2グループに分かれ、館内の宿泊室や娯楽室、今回実施されました。

この視察は、昨年の議員選挙により新たな体制となった区議会による、区施設の視察の一環として行われたもので、区民保養所のリニューアルに合わせて今回実施されました。

区議会では今後も委員会活動、その他あらゆる機会を通じて区政へのチェック機能を果たしていきます。

区議会では今後も委員会活動、その他あらゆる機会を通じて区政へのチェック機能を果たしていきます。

新宿区議会議長が 特別区議会 議長会会長に 就任

6月18日付けで、新宿区議会桑原公平議長が特別区議会議長会の会長に就任しました。

議長会は、23区の議会に共通する課題について、連絡・提携して、円滑な区政の運営と発展を期する目的で設置されています。これまでも、東京都や国への働きかけや、特別区の自治体制の整備と区民生活の安定、向上に努めてきました。

あしがき

第2回定例会の様子を中心にまとめた議会だよりをお届けします。あさがおの花も次々と開いています。温暖化で年々暑さが厳しくなっています。健康に気をつけてお過ごしください。

編集委員
桑原公平 くまがい澄子
下村治生 小松政子
沢田あゆみ 小野きみ子
根本二郎

本紙に関する問い合わせ
議会事務局調査管理係
電話 527313534



新宿区役所本庁舎の屋上緑化見本園

フォト アルバム



四谷ひろば CCAAアートプラザ内 ランプ坂ギャラリー RED LINE CONNECTION #7 本多 真理子展 より

